

# 新変額個人年金保険GF

## 投資型年金Ⅱ

### 2023年度 特別勘定の現況

#### ●投資環境(2023年度)

##### 日本株式市場

当年度の国内株式市場は上昇しました。年度初は、円安による企業業績拡大への期待や東証がPBR（株価純資産倍率）1倍割れの企業に対して資本効率の改善を求めたことが好感されて、国内株式市場は上昇しました。その後、利益確定売りによる一時的な下落局面を挟みながらも米国長期金利の先高観の後退などを背景に、国内株式市場は堅調に推移しました。年度後半に入ると、米国においてインフレ率の高止まりから金融引き締め長期化への懸念が高まったほか、中東の地政学的リスクや日銀の金融政策変更への警戒感などから一旦は売りが優勢となったものの、その後は、金利上昇への過度な警戒感が緩和されたことから、国内株式市場は再び上昇に転じました。2023年末にかけては、為替が円高に動いたことなどを背景に、国内株式市場はボックス圏での推移となりましたが、2024年に入ると、再度円安に転じたことや新NISA開始に伴う資金流入など良好な需給環境への期待などを背景に大きく上昇して当年度を終えました。

##### 外国株式市場

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度初、米国CPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化傾向にあったことなどからFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ懸念が後退したことや、2023年4-6月期の企業決算が事前予想をおおむね上回ったことで景気減速懸念が後退し、外国株式市場は上昇しました。年度半ば以降は、大手格付会社が米国の国債や銀行の格付を引き下げたことを受けて金融システムの健全性への懸念が高まったことや、中東で地政学的リスクが高まったことなどから、外国株式市場は下落したものの、12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利が据え置かれ、また2024年内の複数回の利下げが示唆されるなどインフレ鈍化を背景とした各国中央銀行による緩やかな利下げが視野に入りつつあり、世界経済を下支えするとの期待から、年度末にかけて上昇基調となりました。

##### 日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。根強いインフレ圧力を背景に、欧米中央銀行が政策金利の引き上げを継続し、世界的に国債利回りが上昇したことを受けて、日本の10年国債利回りも年度初から上昇しました。2023年7月の日銀金融政策決定会合では長期金利の変動許容幅を±0.5%程度を目途とするなど、YCC（イールドカーブ・コントロール）政策の柔軟化を決定し、10月にも指値オペの水準に関して1.0%を目途とするなど、さらなる柔軟化を図ったことから、10年国債利回りは一時0.9%台まで上昇しました。その後は、欧米中央銀行の年内利下げが意識されるなかで10年国債利回りは一時0.6%を下回りましたが、堅調な春闘による賃上げの結果が発表されたことや2024年3月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除とYCC政策の撤廃などが実施されたことを受けて、年度末にかけて再び上昇して当年度を終えました。

##### 外国債券市場

米国債利回りは上昇しました。年度前半は、米国の地方銀行の破綻を受けた金融システム不安が後退したことや堅調な経済指標を背景としたFRBの金融引き締めに積極的な姿勢を受けて米国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、米国で雇用統計やCPIに落ち着きが見られたことを背景にFRBによる金融引き締め姿勢が後退したことから、米国債利回りは低下しましたが、年度末にかけては堅調な経済指標が確認されたことやFRB高官の早期の利下げに対する否定的な発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは当年度を通じてはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、資源価格の高騰などを背景に欧州域内でのインフレが高進するなか、ECB（欧州中央銀行）が金融引き締め姿勢を維持したことから、ドイツ国債利回りは上昇基調で推移しました。その後、ユーロ圏の経済指標が軟調であったことや米国債利回りに連動してドイツ国債利回りは低下しましたが、年度末にかけてはECB高官の早期利下げ期待を牽制する発言などから、再度上昇に転じて当年度を終えました。

##### 外国為替市場

米ドル円為替レートは、円安米ドル高となりました。年度前半は日銀が金融政策を修正しつつも金融緩和姿勢を維持した一方、FRBは金融引き締め姿勢を継続したことから、日本と米国の金利差が拡大し、円安米ドル高基調で推移しました。その後、FRBの金融引き締め姿勢が後退したことや、日銀による金融政策修正への期待が高まったことから日米金利差が縮小し、円高米ドル安となる局面もありましたが、年度末にかけて、堅調な米国の経済指標を受けて米国債利回りが上昇したことや、石川県能登半島地震の影響から日銀による金融政策修正への期待が後退したことなどを背景に、再度円安米ドル高が進行しました。ユーロ円為替レートは、インフレの高進を受けてECBが金融引き締め姿勢を継続し、政策金利を高い水準で維持したことなどから、円安ユーロ高基調となりました。

#### ●運用実績の推移および運用方針

- |             |  |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。                            |
| ②当期の運用方針    | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。              |
| ③今後の運用方針    | 当社は、今後とも各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2023年度決算(決算日：2024年3月31日)を行いました。当資料は2023年度の運用状況をご報告するものです。  
4ページ以降は特別勘定レポート(2024年3月末現在)からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。



\*400501\*

## ●特別勘定資産の内訳(2023年度末)

(単位：百万円)

区分	金額					
	日本株式 MA	日本株式中小型 MA	日本株式成長型 FA	世界株式 AA	世界債券ヘッジ型 MA	世界債券フリー型 MA
現預金・コールローン	3	5	4	15	0	2
有価証券	272	338	214	881	26	119
公社債	-	-	-	-	-	-
株式	-	-	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-	-	-
その他の証券	272	338	214	881	26	119
貸付金	-	-	-	-	-	-
その他	3	-	-	1	-	1
貸倒引当金	-	-	-	-	-	-
合計	278	343	219	898	27	123

※単位未満切捨て

(単位：百万円)

区分	金額			
	グローバル・バランス GA	世界バランス FA	米ドル・マネー MA	マネー・プール A
現預金・コールローン	1	8	0	159
有価証券	77	446	4	-
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	4	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	4	-
その他の証券	77	446	-	-
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	79	454	4	159

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の運用収支状況(2023年度)

(単位：百万円)

区分	金額					
	日本株式 MA	日本株式中小型 MA	日本株式成長型 FA	世界株式 AA	世界債券ヘッジ型 MA	世界債券フリー型 MA
利息配当金等収入	30	27	22	23	-	29
有価証券売却益	-	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-	-
有価証券評価益	148	156	120	413	4	2
為替差益	-	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-	5	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-	-
有価証券評価損	84	82	90	198	0	18
為替差損	-	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-	-
収支差額	95	102	52	238	-1	14

※単位未満切捨て

(単位：百万円)

区分	金額			
	グローバル・バランス GA	世界バランス FA	米ドル・マネー MA	マネー・プール A
利息配当金等収入	7	7	0	-
有価証券売却益	-	-	0	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	19	236	0	-
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	20	153	0	-
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	6	90	1	-

※単位未満切捨て

## ●有価証券の売買状況(2023年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
日本株式MA	ブラックロック日本株式オープン	-	-	51,607	46,578
日本株式中小型MA	ブラックロック日本小型株オープン	-	-	10,238	51,943
日本株式成長型FA	フィデリティ・日本成長株・ファンド	-	-	12,887	22,087
世界株式AA	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)* <sup>1</sup>	-	-	15,384	31,647
世界債券ヘッジ型MA	ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジあり)	724	650	45,541	46,107
	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)* <sup>2</sup>	23,837	26,800	-	-
世界債券フリー型MA	ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン(為替ヘッジなし)	8,206	10,124	100,843	101,237
	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)* <sup>2</sup>	56,515	118,400	609	1,276
グローバル・バランスGA	ダ・ヴィンチVA	-	-	21,354	29,037
世界バランスFA	フィデリティ・バランス・ファンド	-	-	6,959	8,769
米ドル・マネーMA	ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズースーパー・マネー・マーケット・ファンド	2	350	78	10,197
マネー・プールA	-	-	-	-	-

※単位未満切捨て

\* 1 2023年10月20日より主な投資先となる投資信託が変更になりました。詳細については、当資料の該当ページをご参照ください。

\* 2 2024年2月末日までに投資対象となる投資信託が変更となりました。詳細については、当資料の該当ページをご参照ください。

## ●保有契約高(2023年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
新変額個人年金保険GF 投資型年金II	42	2,622

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用(年率)* <sup>1</sup>
日本株式MA	ブラックロック日本株式オープン	ブラックロック・ジャパン	1.683%(税込)程度
日本株式中小型MA	ブラックロック日本小型株オープン	ブラックロック・ジャパン	1.793%(税込)程度
日本株式成長型FA	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1.683%(税込)程度
世界株式AA	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)* <sup>2</sup>	アライアンス・バーンスタイン	1.595%(税込)程度* <sup>2</sup>
世界債券ヘッジ型MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)* <sup>3</sup>	ブラックロック・ジャパン	0.528%(税込)程度* <sup>3</sup>
世界債券フリー型MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)* <sup>3</sup>	ブラックロック・ジャパン	0.528%(税込)程度* <sup>3</sup>
グローバル・バランスGA	ダ・ヴィンチVA	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	0.99%(税込)程度
世界バランスFA	フィデリティ・バランス・ファンド	フィデリティ投信	最大年率1.68%(税込)程度
米ドル・マネーMA	ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズースーパー・マネー・マーケット・ファンド	ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク	0.5%程度
マネー・プールA	特に定めません	特に定めません	0.06%以内 金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。

\* 1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

\* 2 2023年10月20日より主な投資先となる投資信託が変更になりました。また、資産関係運用費用も1.705%(税込)程度から、1.595%(税込)程度に変更になりました。

\* 3 2024年2月末日までに投資対象となる投資信託が変更となりました。詳細については、当資料の該当ページをご参照ください。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2002年11月27日

【資産分類】 日本株式

【運用方針】

日本の株式の中から、企業の収益性、成長性、安定性等を総合的に勘案して選定した銘柄に分散投資することにより、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。

【投資対象となる投資信託】

ブラックロック日本株式オープン

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3	1.1%
有価証券等		
ブラックロック日本株式オープン	272	97.8%
その他	3	1.1%
資産合計	278	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	278	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	112.73	-
2023年 3月31日	111.83	0.39%
4月30日	113.57	1.56%
5月31日	120.88	6.43%
6月30日	128.75	6.51%
7月31日	128.19	-0.43%
8月31日	128.80	0.47%
9月30日	133.64	3.76%
10月31日	127.89	-4.30%
11月30日	134.12	4.88%
12月31日	134.14	0.01%
2024年 1月31日	142.77	6.43%
2月29日	153.65	7.62%
3月31日	160.71	4.60%
3ヶ月変化率		19.81%
6ヶ月変化率		20.26%
1年変化率		43.70%
3年変化率		42.56%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### ブラックロック日本株式オープンの基本情報

【運用会社】 ブラックロック・ジャパン

【運用対象】 日本株式

【ベンチマーク】 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2024.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.7%
東証スタンダード	0.6%
キャッシュ等	2.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位10業種構成比 (2024.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	18.7%
2 化学	10.4%
3 輸送用機器	10.0%
4 銀行業	7.5%
5 機械	7.4%
6 卸売業	5.8%
7 情報・通信業	5.7%
8 保険業	4.5%
9 サービス業	4.2%
10 医薬品	3.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	5.1%
2 三井住友フィナンシャルG	銀行業	3.6%
3 日本電信電話	情報・通信業	3.4%
4 リクルートホールディングス	サービス業	3.2%
5 三井物産	卸売業	3.0%
6 日立	電気機器	2.9%
7 三菱商事	卸売業	2.9%
8 東京エレクトロン	電気機器	2.8%
9 ソニーグループ	電気機器	2.8%
10 デンソー	輸送用機器	2.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 56)

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式中小型MA (2024年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】2002年11月27日
- 【資産分類】日本株式
- 【運用方針】日本の株式の中から、成長性、収益性に富む中小型株を中心に運用することにより、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】ブラックロック日本小型株オープン

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	5	1.6%
有価証券等		
ブラックロック日本小型株オープン	338	98.4%
その他	—	—
資産合計	343	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	343	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	241.63	—
2023年 3月31日	217.06	-0.63%
4月30日	218.17	0.51%
5月31日	226.05	3.62%
6月30日	234.98	3.95%
7月31日	237.33	1.00%
8月31日	245.08	3.26%
9月30日	249.56	1.83%
10月31日	238.70	-4.35%
11月30日	251.83	5.50%
12月31日	253.13	0.51%
2024年 1月31日	263.15	3.96%
2月29日	279.43	6.19%
3月31日	292.54	4.69%
3ヶ月変化率		15.57%
6ヶ月変化率		17.22%
1年変化率		34.78%
3年変化率		21.07%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### ブラックロック日本小型株オープンの基本情報

- 【運用会社】ブラックロック・ジャパン
- 【運用対象】日本株式
- 【ベンチマーク】ラッセル野村・ミッドスマールキャップ・インデックス (配当込み)

### 運用状況

#### ■市場別組入比率 (2024.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	90.6%
東証スタンダード	4.5%
東証グロース	1.4%
キャッシュ等	3.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10業種 (2024.3末現在)

業種	構成比
1 建設業	9.2%
2 情報・通信業	8.6%
3 化学	8.1%
4 小売業	7.9%
5 電気機器	6.8%
6 サービス業	5.3%
7 機械	5.2%
8 銀行業	5.0%
9 食料品	4.1%
10 陸運業	3.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ダイダシ	建設業	2.1%
2 INPEX	鉱業	2.0%
3 きんでん	建設業	1.9%
4 日比谷総合設備	建設業	1.7%
5 中国塗料	化学	1.6%
6 バルカー	化学	1.6%
7 東邦瓦斯	電気・ガス業	1.6%
8 鴻池運輸	陸運業	1.6%
9 森永製菓	食料品	1.5%
10 鹿島建設	建設業	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 101)

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式成長型FA (2024年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年12月2日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
【投資対象となる投資信託】  
フィデリティ・日本成長株・ファンド

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	4	2.0%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ファンド	214	98.0%
その他	—	—
資産合計	219	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	219	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	233.96	—
2023年 3月31日	216.63	1.96%
4月30日	220.52	1.80%
5月31日	233.29	5.79%
6月30日	243.40	4.33%
7月31日	240.41	-1.23%
8月31日	241.32	0.38%
9月30日	238.61	-1.12%
10月31日	226.92	-4.90%
11月30日	239.95	5.74%
12月31日	240.87	0.38%
2024年 1月31日	252.57	4.86%
2月29日	263.10	4.17%
3月31日	271.14	3.05%
3ヶ月変化率		12.57%
6ヶ月変化率		13.63%
1年変化率		25.16%
3年変化率		15.89%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2024.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	95.8%
東証スタンダード	2.0%
東証グロース	0.6%
その他市場	—
現金・その他	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2024.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	21.4%
2 輸送用機器	8.8%
3 銀行業	8.2%
4 化学	6.5%
5 卸売業	6.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%
2 キーエンス	電気機器	3.6%
3 東京エレクトロン	電気機器	3.6%
4 ソニーグループ	電気機器	3.3%
5 トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.1%
7 日立製作所	電気機器	3.0%
8 伊藤忠商事	卸売業	2.9%
9 信越化学工業	化学	2.7%
10 本田技研工業	輸送用機器	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 181)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.3末現在)

当月の東京株式市場は、日銀のマイナス金利政策が解除されてデフレ脱却期待が高まり、日経平均株価は史上最高値を更新しました。前月からの上昇の勢いを受け継ぎ、日経平均株価は月初に史上初となる4万円の台に到達しました。その後は米半導体株の下落や、日銀の政策変更を睨んで円高が進んだことなどがマイナス要因となって反落を強いられましたが、春闘で昨年よりも高い賃上げ率が確認されてデフレ脱却期待が高まると、市場で日銀の政策転換の織り込みが進み、株価は力強く上昇しました。日銀はマイナス金利や長短金利操作、上場投資信託買い入れなどの政策の終了を決定した上で、緩やかな金融環境を継続すると強調した一方、米連邦準備制度理事会は年内3回の利下げを行う方針を維持し、日米の金融政策決定会合が大方の事前想定通りに通過したことが株価を一段と押し上げました。日経平均株価は一時41,000円台に乗せるなど、終値で史上最高値を再び更新した後、月末にかけては利益確定売りや3月期決算企業の配当落ちの影響などからやや調整しましたが、そのまま4万円台を維持して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+4.44%、日経平均株価は+3.07%でした。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界株式

【運用方針】

世界各国の株式の中から成長の可能性が高い「産業セクター」を選定し、その中から成長性の高いと思われる銘柄に分散投資することにより、長期的に信託財産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

【対象投資信託】

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2021年 3月31日	230.47	—	110.71
2023年 3月31日	238.60	-2.48%	133.53
4月30日	237.35	-0.52%	134.13
5月31日	255.36	7.59%	139.77
6月30日	275.15	7.75%	144.99
7月31日	274.34	-0.29%	140.97
8月31日	276.87	0.92%	146.20
9月30日	267.43	-3.41%	149.58
10月31日	255.31	-4.53%	149.51
11月30日	275.14	7.77%	147.07
12月31日	281.62	2.35%	141.83
2024年 1月31日	293.96	4.38%	147.55
2月29日	309.89	5.42%	150.67
3月31日	314.55	1.51%	151.41
3ヶ月変化率		11.70%	
6ヶ月変化率		17.62%	
1年変化率		31.83%	
3年変化率		36.48%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	15	1.8%
有価証券等		
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)	881	98.2%
その他	—	—
資産合計	897	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	897	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)の基本情報

【運用会社】アライアンス・バーンスタイン

【運用対象】日本を含む世界主要国の株式

【ベンチマーク】MSCI-WORLD (円換算)

2023年10月20日付で投資対象となる投資信託名が変更となりました。

【変更前】アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)

【変更後】アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)

### 運用状況

#### ■株式国別配分上位 (2024.3末現在)

国名	組入比率
アメリカ	65.4%
イギリス	9.0%
オランダ	4.4%
スイス	3.3%
ドイツ	2.9%
インド	2.4%
日本	2.4%
台湾	2.3%
インドネシア	1.5%
カナダ	1.5%

※実質組入比率を記載しています。

#### ■業種別内訳 (2024.3末現在)

業種	組入比率
情報技術	34.8%
資本財・サービス	18.2%
ヘルスケア	18.0%
金融	15.1%
生活必需品	5.4%
一般消費財・サービス	3.2%
公益事業	2.5%
エネルギー	0.9%

※実質組入比率を記載しています。

#### ■株式組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄	国名	組入比率
1 マイクロソフト	アメリカ	3.3%
2 VISA	アメリカ	3.2%
3 ウェイスト・マネジメント	アメリカ	3.1%
4 エヌビディア	アメリカ	2.6%
5 アイコン	アメリカ	2.5%
6 ネクステラ・エナジー	アメリカ	2.5%
7 MSCI	アメリカ	2.3%
8 アクセンチュア	アメリカ	2.3%
9 台湾セミコンダクター	台湾	2.3%
10 ASMLホールディング	オランダ	2.3%

※実質組入比率を記載しています。

(銘柄数 54)

### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.3末現在)

2024年3月の世界の株式市場は前月末比で上昇しました(米ドルベース)。米国株式市場は、堅調な企業決算や利下げに対する楽観的な見方を背景に、月を通じて堅調に推移しました。米連邦準備理事会(FRB)による年内3回という利下げ見通しが維持されたことやFRB議長によるハト派発言が好感され、主要株価指数が最高値を更新しました。欧州株式市場は、経済が緩やかに回復に向かうなか、利下げに対する楽観的な見方を背景に、上昇基調で推移しました。日本株式市場は、月初は上昇したものの、その後、日銀の金融緩和と解除の観測から急速に円高が進むと、輸出関連株を中心に売られました。月後半は、円安が進行したことから、再び上昇基調となりました。月末はやや売られる展開となりました。為替市場では、円安米ドル高となりました。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券ヘッジ型MA (2024年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界債券

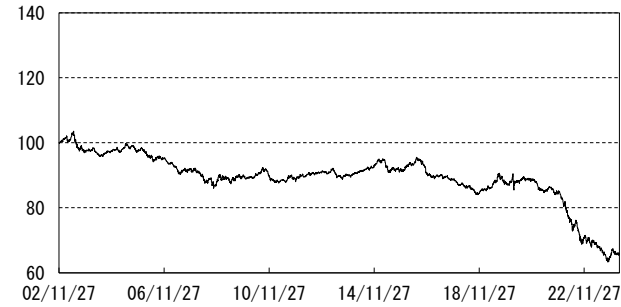
【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	85.63	—
2023年 3月31日	69.43	1.39%
4月30日	69.18	-0.36%
5月31日	67.77	-2.04%
6月30日	68.06	0.42%
7月31日	66.95	-1.63%
8月31日	66.16	-1.18%
9月30日	64.41	-2.64%
10月31日	63.61	-1.24%
11月30日	65.21	2.52%
12月31日	67.46	3.45%
2024年 1月31日	66.09	-2.04%
2月29日	65.55	-0.81%
3月31日	65.89	0.52%
3ヶ月変化率		-2.33%
6ヶ月変化率		2.30%
1年変化率		-5.09%
3年変化率		-23.04%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	1.9%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	26	98.1%
その他	—	—
資産合計	27	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	27	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2024.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.8%	41.7%	0.3%
カナダ	1.8%	2.1%	0.1%
メキシコ	0.8%	3.7%	0.1%
日本	10.9%	10.3%	98.8%
オーストラリア	1.2%	1.0%	0.0%
ニュージーランド	0.2%	—	—
シンガポール	0.4%	0.5%	0.1%
中国	8.1%	7.8%	0.2%
マレーシア	0.4%	—	—
ユーロ	28.3%	28.3%	0.2%
英国	4.6%	14.7%	0.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.1%
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.0%

	ベンチマーク	債券	通貨
スイス	—%	0.9%	—%
ポーランド	0.5%	0.6%	0.1%
フルウェー	0.1%	0.2%	0.0%
イスラエル	0.3%	—%	—%
キャッシュ等		-12.3%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2024年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

#### ■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	4.250	2025/12/31	5.3%
2 アメリカ国債	0.500	2027/8/31	3.0%
3 メキシコ国債	7.500	2033/5/26	2.5%
4 イギリス国債	0.125	2026/1/30	2.5%
5 フランス国債	—	2025/2/25	1.8%
6 イタリア国債	3.000	2029/8/1	1.6%
7 アメリカ国債	—	2024/4/4	1.4%
8 中国国債	2.680	2030/5/21	1.1%
9 イタリア国債	1.600	2026/6/1	1.1%
10 イギリス国債	3.250	2044/1/22	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 306）

修正デュレーション＝平均7.19年（ベンチマーク＝同7.21年）

「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジあり）」の償還により、2024年2月末日までに投資対象となる投資信託が「JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）」に変更となりました。

この変更にもなう特別勘定の運用方針の変更はございません。

なお、詳細につきましては、当社ホームページに掲載の「特別勘定のしおり 追補版」をご参照ください。

・当資料は、投資型年金II（新変額個人年金保険GF）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金II（新変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 世界債券フリー型MA (2024年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年11月27日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

### ■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、7ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	105.79	-
2023年 3月31日	98.47	0.29%
4月30日	99.68	1.23%
5月31日	101.11	1.43%
6月30日	105.02	3.87%
7月31日	101.07	-3.76%
8月31日	103.71	2.61%
9月30日	102.20	-1.45%
10月31日	101.53	-0.66%
11月30日	104.56	2.99%
12月31日	105.86	1.24%
2024年 1月31日	106.71	0.80%
2月29日	107.58	0.82%
3月31日	108.97	1.29%
3ヶ月変化率		2.94%
6ヶ月変化率		6.62%
1年変化率		10.66%
3年変化率		3.00%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	2	2.0%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	119	96.9%
その他	1	1.1%
資産合計	123	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	123	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2024.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.8%	41.9%	42.0%
カナダ	1.8%	2.1%	1.8%
メキシコ	0.8%	3.8%	1.1%
南アフリカ	-	-	0.0%
日本	10.9%	10.4%	11.5%
オーストラリア	1.2%	1.3%	1.3%
ニュージーランド	0.2%	-	0.1%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.8%
中国	8.1%	7.8%	7.8%
マレーシア	0.4%	-	-
ユーロ	28.3%	26.0%	27.2%
英国	4.6%	12.7%	4.6%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.3%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.3%
スイス	-	1.3%	-
ポーランド	0.5%	0.4%	0.7%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
イスラエル	0.3%	-	0.3%
キャッシュ等		-8.9%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2024年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

#### ■組入上位10銘柄 (2024.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	-	2024/4/4	3.4%
2 イギリス国債	0.125	2026/1/30	3.4%
3 メキシコ国債	7.500	2033/5/26	2.9%
4 アメリカ国債	2.875	2032/5/15	2.6%
5 アメリカ国債	3.375	2033/5/15	2.1%
6 フランス国債	2.750	2029/2/25	2.0%
7 アメリカ社債	1.750	2027/3/9	1.8%
8 ドイツ国債	1.700	2032/8/15	1.7%
9 ドイツ国債	-	2029/8/15	1.6%
10 イタリア国債	1.250	2026/12/1	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 264）

修正デュレーション=平均7.12年（ベンチマーク=同7.21年）

「ブラックロック・ワールド・ボンド・オープン（為替ヘッジなし）」の償還により、2024年2月末日までに投資対象となる投資信託が「JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」に変更となりました。

この変更にもなう特別勘定の運用方針の変更はございません。

なお、詳細につきましては、当社ホームページに掲載の「特別勘定のしおり 追補版」をご参照ください。

・当資料は、投資型年金II（新変額個人年金保険GF）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金II（新変額個人年金保険GF）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するための一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# グローバル・バランスGA (2024年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2011年5月25日  
【資産分類】 バランス  
【運用方針】  
日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。原則として為替ヘッジを行います。  
【投資対象となる投資信託】  
ダ・ヴィンチVA

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1	1.6%
有価証券等		
ダ・ヴィンチVA	77	98.4%
その他	—	—
資産合計	79	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	79	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	116.53	—
2023年 3月31日	105.87	0.68%
4月30日	106.58	0.67%
5月31日	106.61	0.03%
6月30日	107.91	1.22%
7月31日	108.32	0.38%
8月31日	107.75	-0.53%
9月30日	104.78	-2.75%
10月31日	101.64	-3.00%
11月30日	106.22	4.51%
12月31日	108.35	2.00%
2024年 1月31日	108.69	0.32%
2月29日	109.48	0.73%
3月31日	112.04	2.33%
3ヶ月変化率		3.40%
6ヶ月変化率		6.92%
1年変化率		5.83%
3年変化率		-3.86%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### ダ・ヴィンチVAの基本情報

【運用会社】 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント  
【運用対象】 日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)  
【ベンチマーク】 MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに100%為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR20%

### 運用状況

#### ■資産構成 (2024.3末現在)

	構成比
世界株式	45.3%
世界債券	41.7%
円短期金融商品	13.0%
合計	100.0%

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2024.3末現在)

<資産クラス間配分>  
資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、大型株に対してやや強気の見通しとしている。大型株はモメンタムの観点で評価がやや高いことからやや強気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点からテクノロジー株に対して強気の見通しとしている。  
<株式国別配分>  
株式国別配分においては、日本やスペインに対して強気の見通しとする一方で、オーストラリアやフランスに対して弱気の見通しとしている。日本に対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。スペインに対しては、バリューの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、オーストラリアに対しては、バリューおよびリスク・プレミアムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。フランスに対しては、リスク・プレミアムおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。  
<債券国別配分>  
債券国別配分においては、イタリアやオーストラリアに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやカナダに対して弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、バリューおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、マクロおよびバリューの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。カナダに対しては、マクロおよびバリューの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。  
<通貨配分>  
通貨配分においては、ユーロ圏やオーストラリアに対して強気の見通しとする一方で、日本やスイスに対して弱気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、リスク・プレミアムおよびモメンタムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、マクロおよびリスク・プレミアムの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、日本に対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。スイスに対しては、リスク・プレミアムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年12月2日  
 【資産分類】バランス  
 【運用方針】  
 日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。  
 【投資対象となる投資信託】  
 フィデリティ・バランス・ファンド

### ■ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、7ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	144.28	-
2023年 3月31日	150.40	-0.83%
4月30日	153.03	1.75%
5月31日	157.90	3.18%
6月30日	163.90	3.80%
7月31日	162.41	-0.91%
8月31日	165.94	2.17%
9月30日	163.76	-1.31%
10月31日	159.50	-2.60%
11月30日	167.39	4.95%
12月31日	168.41	0.61%
2024年 1月31日	173.90	3.26%
2月29日	178.75	2.79%
3月31日	183.60	2.71%
3ヶ月変化率		9.02%
6ヶ月変化率		12.11%
1年変化率		22.07%
3年変化率		27.25%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	8	1.8%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ファンド	446	98.2%
その他	-	-
資産合計	454	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	454	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・バランス・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
 【運用対象】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品  
 【ベンチマーク】複合インデックス (円ベース)  
 ● TOPIX (配当金込) (25%)  
 ● MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)  
 ● ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)\*

\* 2023年3月1日付で複合ベンチマークの構成指数の一部が変更になりました。

### 運用状況

#### ■株式 (2024.3末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	30.7%
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド (適格機関投資家専用)	25.3%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	5.8%
フィデリティ・インスティテュショナル・米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1.6%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモーカー・カンパニーズ・ファンド	1.4%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズ・サステナブル・アジア株式ファンド	0.3%
合計	66.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5ヶ国・地域 (2024.3末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	42.2%
2 日本	25.1%
3 イギリス	6.1%
4 ドイツ	5.2%
5 カナダ	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■債券・短期金融資産等 (2024.3末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド (除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家販売制限付き)	27.8%
D L I B J 公社債オープン (中期コース)	4.6%
合計	32.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位5通貨 (2024.3末現在)

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	47.4%
2 日本・円	25.1%
3 ユーロ	9.3%
4 イギリス・ポンド	5.4%
5 中国・元	1.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年4月22日

【資産分類】 短期金融商品

【運用方針】

短期の市場性を有する有価証券および金融市場証券に分散投資し、米ドル・ベースでの元本、流動性および最大限の収益の確保を追求することを目指します。

【投資対象となる投資信託】

ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ  
ー スーパー・マネー・マーケット・ファンド

### ■ ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、7ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	77.19	—
2023年 3月31日	91.62	-1.84%
4月30日	92.19	0.62%
5月31日	96.23	4.38%
6月30日	100.04	3.96%
7月31日	97.54	-2.50%
8月31日	101.34	3.89%
9月30日	103.87	2.50%
10月31日	104.10	0.22%
11月30日	102.68	-1.37%
12月31日	99.29	-3.29%
2024年 1月31日	103.52	4.25%
2月29日	105.92	2.32%
3月31日	106.66	0.70%
3ヶ月変化率		7.41%
6ヶ月変化率		2.68%
1年変化率		16.41%
3年変化率		38.18%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	0	1.3%
有価証券等 ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ ー スーパー・マネー・マーケット・ファンド	4	98.7%
その他	—	—
資産合計	4	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	4	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズー スーパー・マネー・マーケット・ファンドの基本情報

【運用会社】 ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク

【運用対象】 短期金融商品 (米ドル建て)

【ベンチマーク】 特に定めない

### 運用状況

#### ■ ポートフォリオ構成 (2024.3末現在)

	構成比
レボ	95.3%
CP	45.0%
政府機関債	8.2%
短期社債	0.4%
現金等	-48.9%

・当資料は、投資型年金II(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金II(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報に基づき提供されるものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2002年11月27日

【資産分類】 短期金融商品

【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に運用を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

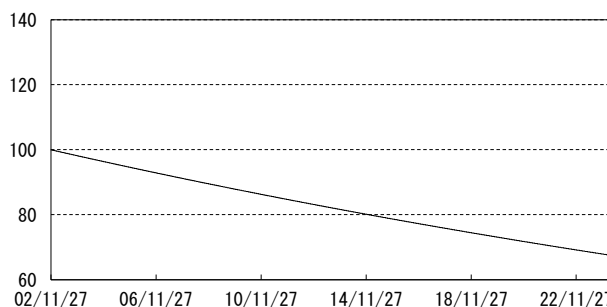
【投資対象】 短期金融商品

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	159	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	159	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	159	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2021年 3月31日	71.33	—
2023年 3月31日	68.75	-0.16%
4月30日	68.65	-0.15%
5月31日	68.54	-0.16%
6月30日	68.44	-0.15%
7月31日	68.33	-0.16%
8月31日	68.23	-0.16%
9月30日	68.12	-0.15%
10月31日	68.02	-0.16%
11月30日	67.91	-0.15%
12月31日	67.81	-0.16%
2024年 1月31日	67.70	-0.16%
2月29日	67.60	-0.15%
3月31日	67.50	-0.16%
3ヶ月変化率		-0.46%
6ヶ月変化率		-0.92%
1年変化率		-1.83%
3年変化率		-5.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.84%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.793%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。

### ■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.84%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～2%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～2%(経過年数に応じて)

### ■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

#### ●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

#### ●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.793%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金Ⅱ(新変額個人年金保険GF)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 <b>東京海上日動あんしん生命保険株式会社</b> ホームページ <a href="https://www.tmn-anshin.co.jp/">https://www.tmn-anshin.co.jp/</a> ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ <b>☎ 0120-155-730</b> 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---